

# 株式会社 打江精機



代表取締役  
打江 信夫

岐阜県  
高山市匠ヶ丘町239

1960年(昭和35年)設立  
TEL 0577-32-0035

<http://www.utue.co.jp>

超精密加工の技術・  
ノウハウを核とした  
高品質な産業用油圧機器  
を製造

「飛騨の匠」の精神を受け継いだ超精密加工技術によって製造される油圧機器は、国内の建設機械メーカーから高い評価を得ている。

## 1ミクロン(1/1000mm)単位での超精密加工を得意とする

1ミクロン単位での高精度を要求される各種油圧バルブ、ポンプ、モーター部品を生産している。

ベテラン従業員の長年の経験に裏打ちされた技術やノウハウを活かし、自社仕様に特注・改造したNC旋盤やマシニングセンター等による切削や研磨を経て、「目に見えないゴミ(顕微鏡でしか見えないゴミ)」を油洗浄により取り除いた後、製品を組立てている。

特に油圧機器は内径の精度が重要視されていることから、研磨後にホーニング加工(砥石の選択、切削油、精度及び膨張率等の様々な条件を考慮しなければいけない非常に高精度な内径加工)を行い、それでも顧客の要求する精度が出せない場合は鏡面仕上げ加工(ダイヤモンド及びスーパーロール等の刃具を使用)まで行っており、高い技能が必要とされるため、他社では真似ができない水準にある。

また、部品毎には図面どおり1ミクロンの公差範囲内に収まっているものの、組み立ててみると「図面には表れない微妙な誤差」が原因となって期待した性能が出ないことが一般的には時々あるが、当社では早くから一貫生産体制の構築やモジュール化に取り組んできたため、安定した品質を実現している。また、出荷時には抜き取り検査として製品組み立て後にいったんばらして再度検査することで、自動車部品以上の高精度な品質水準を達成している。

## コスト・納期では他社に負けない競争力をもつことで、オンリーワン企業を目指す

建設機械向けの油圧機器部品の中でも、運転席の操作バルブや履体の走行モーター、ショベルの回転を制御する旋回モーター、油圧ポンプの構成部品についての国内での高いシェアを誇り、これらの部品がなければ建設機械は動かないと言っても過言ではないほどの地位を確立している。

また、顧客からのニーズに対して「やれない」とは言わないことを信条としており、QC活動にも積極的に取り組みながら、品質・コスト・納期の改善につながる提案を常に行い、油圧機器等の精密加工分野に特化したオンリーワン企業を目指している。このような姿勢が評価されて、必ずしも交通の便が良くない高山市に立地しているにも関わらず、遠隔地の大手油圧機器・建設機械メーカーからの受注を得ており、その取引開始の契機についても、創業来、ほとんどロコミで関東から近畿までの取引先を獲得している。